

鎌倉市川喜多映画記念館 春の企画展のご案内



[企画展] シネマティック・ジャパン 世界を魅了した日本映画たち

会期：2026年4月4日(土)ー6月14日(日)

企画展観覧料：一般300円、小・中学生150円 ※鎌倉市民は無料(要証明書)

日本映画の豊かでカオスな魅力を楽しもう

日本映画はいつから世界で見られるようになったのでしょうか？どんな映画がどんな風に見られてきたのでしょうか？

日本映画はその草創期から世界を夢見てきました。川喜多長政は、留学先のドイツで目にしたオペラ「蝶々夫人」における日本の出鱈目な描写に失望し、外国に日本の正しい姿を知ってもらいたいとの思いから映画に関わるようになりました。欧米の映画に学びつつ、映画人たちは独自の映画文化を発展させてきました。

転機が訪れたのは1951年。『羅生門』のヴェネチア国際映画祭受賞が、敗戦からの復興途上にあつた日本人を勇気づけ、日本映画は次第に国際的な存在感を高めていきます。黒澤明や溝口健二の時代劇に始まり、映画史に名を刻む作家たちの作品はもちろん、『ゴジラ』に代表される「特撮もの」や「怪談もの」、「やくざ映画」から近年は「ホラー」や「アニメーション」といった、日本ならではの文化的背景を生かした大衆娯楽映画まで、今や日本映画は様々な角度から世界で愛されています。

本展では、各国で制作された日本映画ポスターを中心に、外国からのまなざしを通して、日本映画とそこに描かれる“日本”を見つめ直します。日本映画の豊かでカオスな魅力をお楽しみください。

◆企画のみどころ◆

■“世界のクロサワ” 黒澤明監督作品ポスター25点、独自のデザインワークで知られるポーランドポスター17点、映画の世界観を瑞々しいデザインで表現する韓国発ポスター48点を含む、日本映画の海外版ポスター130点を展示

私たち日本人が慣れ親しんできたはずの数々の映画たちが、“外国からの視線”で制作されたポスターによって新鮮に生まれ変わります。普段ほとんど目にする機会のない「海外版ポスター」の大胆で刺激的なデザインをお楽しみください。お気に入りポスターへの人気投票も実施！

■『羅生門』から『愛のコリーダ』、『Love Letter』まで、世界で愛されてきた日本映画を中心に16作品を上映

各国の映画祭で受賞し、日本映画の評価を世界に広めてきたアート映画を中心に、タランティーノが『キル・ビル』でオマージュを捧げた『修羅雪姫』や、その性愛表現をめぐって世界にセンセーションを巻き起こした『愛のコリーダ』、韓国をはじめアジアで熱狂的に見られた『Love Letter』など、今改めて見たい映画を集めました。

■「ゴジラ」を愛してやまないスペイン人愛好家、アメリカNYで日本映画の上映に携わってきた映画研究者によるトークイベント、外国で初めて評価された無声映画の名作を活弁&生演奏付き上映

『ゴジラ』をはじめとする特撮映画は、私たちの想像を遙かに超えて、欧米を中心に世界で愛されています。そんなマニアックな日本映画への愛を語るトークイベントや、長年アメリカでの上映活動を通して文化としての日本映画の魅力を発信してきた研究者のトークなど、海外目線から日本映画を知る貴重な機会です。

■古都・鎌倉の魅力さをさらに味わえる、敷地内に建つ江戸時代後期の田舎家「旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)」の公開

当館敷地内の庭園は、鎌倉ならではの地形である《谷戸》と、かつて哲学者・和辻哲郎が自宅として暮らし、2度の移築を経て鎌倉にやってきた田舎家、そして四季折々の草花の調和を味わっていただけます。年に数回しか公開していませんが、4月と5月の貴重な公開機会に合わせて、是非鎌倉散策をお楽しみください。

お問い合わせ：鎌倉市川喜多映画記念館（企画展担当：阿部 広報担当：松本、肥山）
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12
TEL:0467-23-2500 / FAX:0467-23-2503
MAIL:contact@kamakura-kawakita.org
HP:https://kamakura-kawakita.org

※関連情報や詳しいスケジュールは当館HP
(<https://kamakura-kawakita.org>)をご覧ください。

Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館

◆ 展示資料画像 ◆



『羅生門』(1950)西ドイツ版ポスター



『七人の侍』(1954)ポーランド版ポスター

広報にご活用いただけます。



『蜘蛛巣城』(1957)イタリア版ポスター



『乱』(1985)ポーランド版ポスター



『ゴジラ』(1954)スペイン版ポスター



『座頭市千両首』(1964)フランス版ポスター



『子連れ狼』(1972)スペイン版ポスター



『ソナチネ』(1993)アメリカ版ポスター



『Dolls』(2002)韓国版ポスター



『お早よう』(1959)韓国版ポスター

◆ 関連イベント ◆

5/9 (土) 14:00 トークイベント
「宣材から見る、世界で注目される邦画の今昔」
ゲスト: ダニエル・アギラルさん

5/9 (土) 13:30 『愛のコリーダ』上映+トークイベント
「海外で日本映画を見せるということ」
ゲスト: 平野共余子さん

5/30 (土) 13:30 活弁+生演奏付き上映
『十字路』
弁士: 澤登 翠さん 楽士: 湯浅 ジョウイチさん

◆ 上映作品 ◆ 一般: 1300円、小・中学生: 650円 (展示観覧料含む)

4/14 ~ 19
『砂の女』(1964)、『雨月物語』(1953)、『怪談』(1965)

5/12 ~ 17
『羅生門』(1950)、『乱』(1985)、『A.K. ドキュメント 黒澤明』
(1985)、『映画の中の黒澤明 Filming Akira Kurosawa』(2025)

5/19 ~ 24
『座頭市と用心棒』(1970)、『子連れ狼 子を貸し腕貸しつかまつる』
(1972)、『修羅雪姫』(1973)

6/2 ~ 7
『刺青一代』(1965)、『愛のコリーダ』(1976)、『裸の島』(1960)

6/9 ~ 14
『Love Letter』(1995)、『(ハル)』(1996)、
『ロスト・イン・トランスレーション』(2003)

◆ 旧川喜多邸別邸 (旧和辻邸) 公開 ◆

一般公開 (無料) 4/11・12 10:00 ~ 16:00

特別公開 (要展示観覧料) 5/2 ~ 4 10:00 ~ 16:00
※特別公開時は靴を脱いで建物の中にお上がりいただけます。

